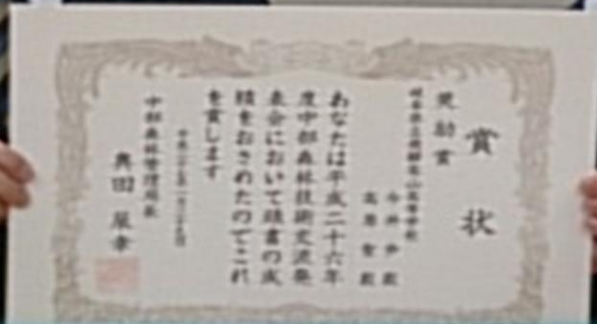
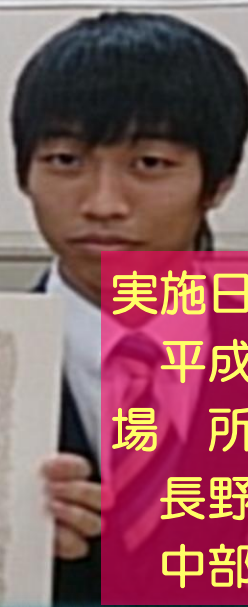


中部森林技術交流発表会

林野庁 中部森林管理局主催

平成26年度 中部森林技術交流発表会



実施日
平成27年1月29日
場所
長野県長野市
中部森林管理局内

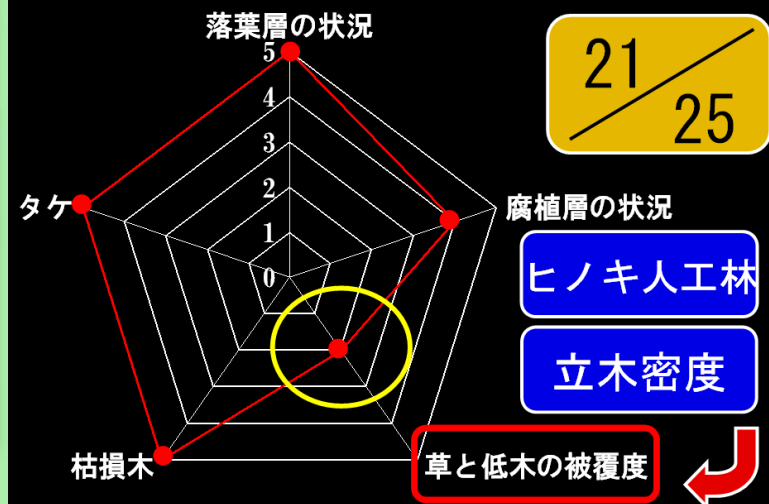
安定した森林を目指して

～スイス・フォルスターに学ぶ、環境にも経済的にも持続可能な森林づくり～

スイス・フォルスターから学んだ林業先進国の森づくりを、演習林の100年生ヒノキ人工林の管理に取り入れ、環境面と経済面の観点から50年後の演習林を創造した取り組みについて研究発表を行ってきました。



ヒノキ人工林を点数化

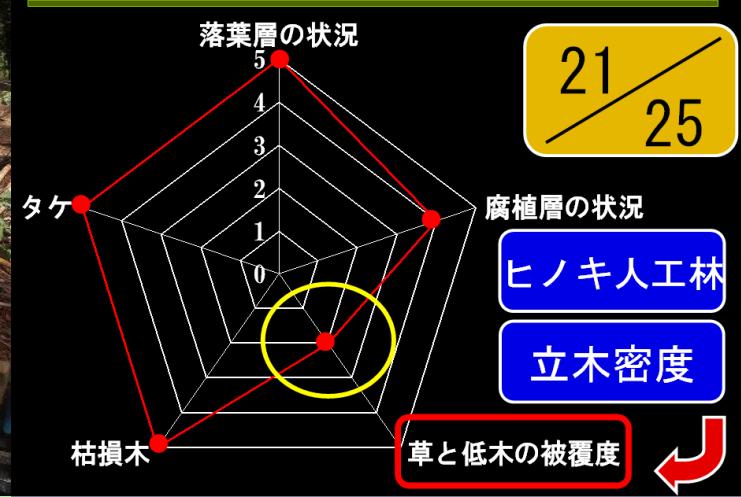


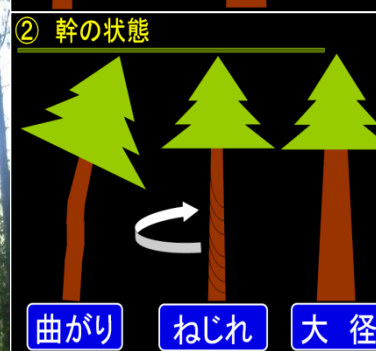
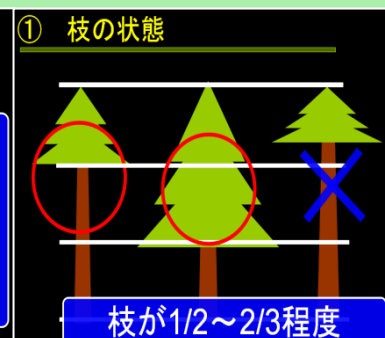


スズでフォスターとして活躍されているロルフさんのアドバイスを受け「森の生い立ち」「森林の多様性」「育成木施業」「安定した森林」の観点に立ち現状を調査し、目指す森林像を明確にし、未来予測に取り組みました。



ヒノキ人工林を点数化





「林と木の持つバ イターとクオリティー」を評価し、育成木を選び100年から150年までの管理方法を検討しました。

伐採前と伐採後の比較

	伐採前 100年生	伐採後 105年生
平均樹高	23.7m	25.2m
平均胸高直径	26cm	32.3cm
平均形状比	91	81
立木密度	691本/ha	326本/ha
平均樹幹距離	3.8m	5.8m
平均樹冠長率	42%	43%
収量比数	0.8	0.62



選木後

